

感染症ニュース

No.227 2024/03/15

文責：竹鼻 純子

<流行中の感染症>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

海外での流行の主流は BA.2 系統から派生した JN.1 で、日本国内でも拡大しつつある。JN.1 は、過去に感染したり予防接種を複数回受けたりして免疫がある人でも、感染して発症する可能性が高く、また感染力も強い。今後も高齢者の重症化予防のためのワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

インフルエンザ

全国で流行が続いており、富山県内でも学級・学年閉鎖もまだ出ている。昨年末から流行していた A 型に替わり、現在は B 型が大流行中である。

溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行するが、昨年の感染予防策が緩やかになった頃から流行が続いている。再感染や再発例も多い。経口抗生剤が有効だが、症状が治まっても 10 日前後服用を続けないと、腎炎などの合併症を併発する。

アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

昨年の大流行は下火にはなっているが、まだ流行あり。急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に多いが冬に流行することもあり、一年を通してみられる。感染力が非常に強く、登園・登校禁止にもなる。熱や痛みで飲食できないと脱水症になりやすい。

感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。

★ 麻疹 (はしか) の感染者が関西や東京で報告されている。海外から入国・帰国した人の感染が多いが、経路不明もある。空気感染なので同じ空間にいただけで感染する。感染して発症するまでに約 2 週間あり、その間に他の人へ感染させてしまうので要注意。